

令和5年度 今治市宮窪カレイ山展望公園指定管理者モニタリング結果

施設名	今治市宮窪カレイ山展望公園
所在地	今治市宮窪町宮窪4703番地
指定管理者	<p>名 称 NPO法人能島の里</p> <p>代表者 理事長 村上 利雄</p> <p>住 所 今治市宮窪町宮窪4703番地</p>
モニタリングの実施方針・方法等	<p>本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、利用者への声かけ、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。</p> <p>その後、指定管理業務の課題ごとに、指定管理者による自己評価及び市による評価結果を取りまとめました。</p>
担当部課 (問合せ先)	<p>総合政策部 交流振興局 観光課</p> <p>TEL : 0898-36-1541</p> <p>E-mail : kankou@imabari-city.jp</p>

評価内容

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
総則	B	施設の設置目的である「産業と観光の振興及び市民生活に安らぎとふれあいを与えるとともに地域間交流を図ることを目的」を達成するため、適切な管理運営に努めました。	B	事業の履行は適正に行われている。今後も施設の設置目的や管理運営の基本方針を理解し、利用者にとってのサービス向上に向け、利用者の声を施設運営に取り入れながら、積極的に業務に取り組んでいただきたい。
利用状況	B	新型コロナウイルスが第5類に移行したにも関わらず、訪問客およびキャンプ場利用客が思うように伸びず、減少してしまった。今後はアンケート結果から減少した理由を分析し、利用者が増加となるよう、様々な取組を行っていききたい。	B	前年度と比べ、訪問客およびキャンプ場利用客が減少している点は残念であるが、利用者増となるような取組は一定の評価ができる。今後、さらなるサービス向上に努め、利用者増となるような積極的な取組に期待したい。
事業収支	B	全体の予算内で施設の管理を行い、観光地化を図るために、必要な費用は最小限で支出した。収入支出は適切に処理を行った。	B	事業収支について整理されており、計画的に運営されている。今後もさらなる努力により、収支の健全化に向けた取組を実施していただきたい。
管理運営体制	B	月に一度定例作業日を設けている。この日は会員が集まって、主に清掃等の管理作業を実施した。3カ月ほど指導をしてもらいながら木の伐採も行い、新たな絶景が見れる観光スポットを作成した。枯れた木も危険性があるため、伐採した。	B	限られた人員の中で、適正な管理運営ができるよう人員配置がなされている。人員が少ない状況ではあるが、お互いの情報や知識を共有し、また若いスタッフの力を最大限に発揮し、お互い助け合いながら施設運営に努めていただきたい。
管理運営業務	B	魅力ある施設を維持するため、清掃・剪定などを積極的に行い、景観美化に努めた。また、展望台およびキャンプサイト横に設置されているトイレに関しても当法人の会員が受け持ち適時清掃を行った。全体の公園清掃は土・日・祭日に多数の会員で適時行った。	B	集客力を上げるための美観上の工夫や清掃等適切な施設管理がなされている。テレビ番組やウェブメディアで紹介されることも見受けられるため、SNS等での積極的な発信につなげていただきたい。
利用業務	B	ホームページやSNSを活用した広報活動、植栽管理等カレイ山展望公園内の美化などを行った。新たに外部運営のコンテンツとしてアウトドアサウナが加わり、キャンプも含めてカレイ山の魅力向上の機運が高まりつつある。	B	利用者への対応は適切に行われている。今後はSNSなども積極的に活用し、効果的なPRを行うとともに、施設の利用者増加につながる取組を行っていただきたい。

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
その他業務	B	<p>その他業務に関しては、多くの方に来場してもらえらるよう、積極的に活動を行った。とりわけ、駐車場管理業務に注力することによって、来場する車の安全性や円滑性に配慮した。今後も事故・災害を想定し、的確な予防対策を講じたい。また、公園に至る経路の美化清掃は困難な活動だが、視界が良くなり交通事故軽減につながるため積極的に行っていきたい。</p>	B	<p>利用者の事故予防に向けた取り組みに力を入れており、サービスの向上を図っている点は評価できる。近年のアウトドア需要の高まりを踏まえた上で、現地利用客のニーズを的確にとらえ、魅力向上に取り組んでいただきたい。</p>
修繕業務	B	<p>車両の整備を実施。その他施設内美化を図るため、水路清掃及び施設の枯木の伐採等を行った。また快適な利用のため、キャンプサイトの整地を行った。</p>	B	<p>修繕業務について円滑に行われている。今後も利用者の安全と美観の確保を図っていただき、将来を見据えた修繕も検討いただきたい。</p>
備品管理業務	B	<p>今年度備品の購入実績はなかったが、適切な備品管理を行い、不具合が見られた備品は修繕しながら使用した。</p>	B	<p>今後も適正な管理と効率的な更新を行っていただきたい。</p>
行政財産の目的外使用許可手続業務	B	<p>物品販売のためのコンテナとそれに変わる建屋は、駐車場のスペースを侵食しないよう配慮して配置している。客層を鑑みて収益を上げるためにコーヒー、カレー等の販売をしている。石の腰かけは展望台に上がることのできない高齢の利用者の方をはじめ、カップル、その他多数の利用者の方に活用していただける人気スポットとなっており、観光地化に大いに役立っている。パイレーツテントは一時中断している。</p>	B	<p>地元の特徴を生かした施設を設置しており、特色のある場所の提供を行っている。申請手続き、運営面において適切な処理がなされており、利用者へのサービス向上が図られている。今後も継続して取り組んでいただきたい。</p>
自主事業	A	<p>昨年度までは、市場では公園内も滞在時間が短い方に対して店舗内の飲食提供だけでは、食事が提供できないという機会損失が目立っていた。また、カレイ山の一角に位置する遠見茶屋（運営：NPO法人能島の里）を訪れる方が増加する一方で、遠見茶屋の混雑時や休業時には、市場へ昼食を求めめる方が増加していたにも関わらず、十分な飲食提供ができていなかった。その対応として、市場でテイクアウト可能な軽食の提供を開始し、機会損失を大きく減らすことができた上、利用者の満足度も向上した。今後は、自主事業として各種イベントの開催方法を模索し、カレイ山のさらなる魅力向上に努めていきたい。</p>	B	<p>物品販売・飲食提供・大鳥石の展示など様々な事業を行っている点は評価できる。観光客や地元客の満足度向上につながっている一方、利用が少ないという課題がある。今後、施設の魅力度向上のため、既存事業の充実化や新たなイベントの実施方法を模索し、観光客の誘致を図っていただきたい。</p>
地域団体との連携	B	<p>鵜島はカレイ山展望公園から望む景色には欠かせない要素の一つである。鵜島には、橋などの人工物が見えないビューポイントもあるため、瀬戸内の原風景が残る島である。そんな鵜島の保全および魅力アップのために、協働で活動を毎年行っている。今年度は鵜島住民4名と能島の里会員11名の計15名で清掃を実施した。</p>	B	<p>地域団体と連携した取組を実施している点は評価できる。カレイ山展望公園から鵜島を臨む景観を守るため、今後も各団体との連携による清掃等協働活動を継続し、広域での地域活性化を図っていただきたい。</p>

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
利用者アンケート	B	<p>アンケートは、キャンプ場宿泊客に対してのみ実施。現時点での人員リソースから勘案して、管理者と直接会話できるキャンプ宿泊客および宿泊希望者に対するアンケートの実施が限界であると考えていたが、その他の訪問者の声を吸い上げるためにも、質問フォームのQRコードの設置を検討するほか、キャンプ場利用客の質問も手軽に収集できる方策を練りたい。</p> <p>またアンケートフォームの設置に合わせて、口頭でのアンケートも質問内容を固定できるように検討していくと共に、吸い上げられた潜在ニーズや課題（シャワーの設置希望など）への対応を検討していきたい。</p>	B	<p>アンケートの結果を施設運営に取り入れている点は評価できる。アンケートの実施は、利用者の率直な意見や要望を聞くことができる重要な手段であるため、今後も継続して行っていただきたい。</p>
事故・苦情	B	<p>駐車場管理を適切に実施しており、事故については、発見・通報等はなかった。設備関連においても適切に管理を行い、苦情等はなかった。今後も、事故や苦情等が発生しないよう適切な管理運営に努め、問題が発生した時には迅速に対応できるように努めたい。</p>	B	<p>駐車場管理をはじめ、その他施設を適切に管理している点は評価できる。今後、緊急時の対応についてはできる範囲で対応いただき、また未然に防ぐことが可能なものについては事前の修理等をお願いしたい。</p>
指定管理者の経営状態			<p>会計帳簿等については法令及び定款に従い、適正に作成されていると認められる。指定管理者の経営状況についても事業収支一覧や経営状況分析指標等から判断した限り、指定管理を安定して行う能力を有していると認められる。</p>	

総 合 コ メ ン ト (市)

指定管理者は、条例等及び業務仕様書に基づき、カレイ山展望公園の魅力が十分に発揮できるよう、施設の管理・運営を適正に実施していると評価できる。近年のアウトドア需要の高まりを踏まえた上で、新たな付加価値が創出できるような取組を実施するとともに、苦情やアンケート結果を分析しながら、利用者に対するより良いサービスが提供できる環境を整えることを期待する。また、今後はさらに新たな客層を取り込めるイベントを企画し、施設の積極的な利用を図っていただきたい。